

A 151

長崎地区におけるガン患者と他疾患患者の食習慣について (I)

長 大 匠 孝    〇 森本和枝    小川英理子    井上寿子    内野ケト    片巻真木子  
法水短大    中里高美子    左 尊子    古場久代    田中玲子

目的 長崎地区におけるガン罹患と食習慣との間に如何なる関係があるかを知るために食習慣調査票を作成し、病院入院患者約1710名について無作為に調査した。

方法 調査はある一定期間内に、長崎市内病院3ヶ所、長崎県内病院4ヶ所、長崎県外病院6ヶ所であった。調査内容は、よおそ61項目の質問を用意し、これらの項目をさらに細分化し、符号化し電算機ファイル化した。疾患の分類は医師の診断から従った。

結果 調査対象数1710名のうち、ガン患者は233名で、約13.6%を占め、これらガン患者の長崎市内分布は16.7%、長崎県内12.4%、県外が12.0%であった。男女別では、男子が55.8%、女子が44.2%であった。ガン患者の年齢は65~69才に集中しており全体の17.6%を占めた。職業別では農林業従事者が18.5%と最も多かった。これらのガン患者と一般患者の食習慣の差異について述べる。